

ゾンビ布教フリーペーパー

Cafe of the Dead

カフェ・オブ・ザ・デッド
Cafe of the Dead

2014
ver7.007



大マジメに、
備えあれば
憂いなし(たぶん)
巻口カ-

SFゾンビ大戦争・序章
南瓜金助

死に物のミュージック
T長

あれもこれも
ゾンビ
DEATH

國重直也

ゾンビ科学。
Zombie Science

ゾンビ
世界であなたと
一緒に
nanoko

佐伊村司
異骸

-THE PLAY DEAD/ALIVE-

7月11日発売!

インタビュー

もう遅い。
既に世界は
ゾンビで
満ちている。

ゾンビ布教フリーペーパー

Cafe of the Dead

カフェ・オブ・ザ・デッド
Cafe of the Dead

2014
ver7.007

大マジメに、
備えあれば
受けなし(たぶん)
@ロカ

SFゾンビ大戦争・序章
南瓜金助
死に物のミュージック
T長

あれもこれも
ゾンビ
DEATH

國重直也

ゾンビ科学。
Zombie Science

ゾンビ
世界であなたと
一緒に
nanako

佐伊村司
異骸

-THE PLAY DEAD/ALIVE-

7月11日発売!

インタビュー

もう遅い。
既に世界は
ゾンビで
満ちている。



佐伊村 司 ってこんな人

東京在住。講談社「ちばてつや賞」優秀新人賞受賞を受賞しデビュー。2012年 秋田書店プレイコミック『東京アンデッド』連載。2014年 徳間書店コミックリュウ『異骸 -THE PLAY DEAD/ALIVE-』連載開始。趣味は線り消してゾンビを作ること。原稿が上がると1体作ります。



佐伊村 司

異骸

インタビュー

-THE PLAY DEAD/ALIVE-

発売記念



異骸 -THE PLAY DEAD/ALIVE-

著作：佐伊村 司
発売日：2014年7月11日
価格：620円＋税
出版：徳間書店

ゾンビではなく
フアッションとしての

世界のゾンビフアンをも唸らせるゾンビ漫画を同人誌で発表し続け、そしてどうとう商業誌へ！
『ゾンビ漫画家』であり、『熱狂的なゾンビフアン』でもある佐伊村 司先生の初の単行本『異骸 -THE PLAY DEAD/ALIVE-』第二巻発売を記念して、佐伊村 司先生にインタビューをさせて頂きました。
この素晴らしいゾンビ観はいつどこから来るものなのか。その謎は迫ります。

「結核から衝撃的ですが、二巻のこたわりほどのあたりですか？」
「食人、生死、酸欠、睡眠、破壊、悲嘆、恐怖、不安、憂鬱、絶望、幻想、聴病、遠逝、不潔、冒瀆、狂気、侍、乱舞、愛、青春、純情、友情、情熱、孤独、勇猛、失意、侮蔑、屈辱、憎悪、疑心、傲慢、邪知、暴力、血飛沫、切断、必殺、征服、命……、すべて、あります。」
「日本のゾンビ漫画はどうしても、かわいいゾンビが」

多くてゾンビを単なるフアッションにしてるのがほとんどなんですよね。
ゾンビの定義は人それぞれですが、僕のゾンビは、あくまでロメロ流派なんです。
少し前までは日常だった、少し前までは人だった……親しいものと対峙しなければならぬ。辛さ、悲しさ、恐怖、等の感情を丁寧に描こうと心がけています。

「ゾンビとの出会い、ゾンビ漫画を描こうと思ったのはいつ頃ですか？」

「出会い、小学2年生の時に友達の家で見た『バタリアン』です。
ゾンビの魅力にやられてしまいました。ロメロにいきついたのが中学生の頃です。
ゾンビ漫画を描こうと思ったのは、昔からあったのですが、出版社が許してくれないんですよ。
ホラー枠がある雑誌は珍しかったんです。」



原作：佐伊村 司
高橋 構造
作画：高橋 構造
Takahashi Kozo

自信があるのに世に出してもらえないことに、ほとほと嫌気がさして個人でゾンビ漫画を出版しようと思いついた『CRUELER THAN DEAD』を作り始めました。それが2010年の頃です。
これが海外の出版社に評価されて2015年にはフランスで出版されることになっています。

「いろいろな遠回りのようなことをしてきましたが、結局、好きなものを突き詰めていくことが大事だったんだなと思いました。」
「……遠回りも大事なのですが。(笑)」

「理想的なゾンビはどんなゾンビですか？」

「開祖ロメロ流です。この流れは絶対です。霊的なゾンビは正直そんなに好きではないんですよね。」

「ロメロのゾンビには哀愁がある、哀愁が出せれた時点でもう名作。走るの哀愁が感じられないんですよ。『異骸 -THE PLAY DEAD/ALIVE-』では走るゾンビなのですが、そこを突破したいと思っています。」

「オススメなゾンビ作品はありますか？」

「2012年から1年間連載していた『東京アンデッド』……単行本にもなってない自分の作品なんです。(笑)」
「ロメロ流直徑のノロゾンビなのですが、誰しもが描けなかった部分を描いたと思っています。」

「ほとんどの作品は、いつのまにかゾンビが蔓延した世界になってますよね？ 眠りから覚めたらゾンビの世界……このゾンビに軍隊は負けない……このゾンビじゃ世界を席巻できない……そんなモヤモヤした部分が子供の頃からありました。」
「それが大人になるにつれて、誰も描かないのなら、このモヤモヤの解消は『自分でやるしかない』と思うようになり描きました。」
「いい漫画を描いたと思っています。単行本化でさるよう頑張ります！」

「思い出は腐らない」

「これからゾンビに手を出すという初心者の方に一言お願いします。」

「まずはロメロ監督の『Night of the Living Dead』を読んで感動し、ぐるぐる『○○ of the Dead』のまがいものがたくさんあるので手当たりしたい観望しよう。きつと鼻血も出ないくらいつまらないでもね……思い出は腐らないよ！」

「今後の予定などありましたらお願いします。」

「『異骸 -THE PLAY DEAD/ALIVE-』の連載を頑張った『ミケや』『ティア等』のイベントに参加していきます。」
「2015年には『CRUELER THAN DEAD』の海外書籍化があります。」

「この記事を読んで興味をわき本を手にとってもらえたら幸いです。」

「佐伊村 司先生、ありがとうございました！」

ゾンビ DEATH

あれも これも

女性向け編



ゾンビと言えばまず思い浮かぶのはロメロを代表とする映画作品ではないでしょうか。確かにゾンビ＝映画は間違った構図ではありません。ですが、巷には映画以外のゾンビというものがこれまた意外にも多く存在しています。海外から入ってきているもの、国内生産されているもの、小説、マンガ、ゲームと種類も実に様々。そんな映画以外のゾンビ作品をご紹介します。

しかも今回はその中でも「女性向け」の作品に注目します。女性向けなんてあるの?! と思われるかも知れません。それが意外とあるんですよ。これがまた。

では早速紹介していきましょう。

まずは入門編として「高慢と偏見とゾンビ(著:ジェイン・オースティン、セス・グレーム＝スミス)」です。

これは18世紀の恋愛を描いたジェイン・オースティンの「高慢と偏見」をベースに、ゾンビ要素をプラスした小説です。ゾンビが普通に蔓延するというだけで、本筋は「高慢と偏見」そのもの。どうしてこうなった? 感が半端ない作品です。しかしながらユーモアに溢れ、遊び心も満載。映画化の話も出ているようなので、これは読んで損はありません。

挿絵も入っているのですが、ゾンビがカリフラワーを食べている図が非情に可愛い! 似非日本風の設定も盛り込まれていて、笑えること間違いありません。ゾンビがいるのが普通であるという前提条件がとてもしっかり作りこまれているので、安心して読むことが出来ると思います。

ロマンス小説つながりで次は「アニタ・ブレイク・シリーズ(著:ローレル・K・ハミルトン)」。

これは所謂パラノーマル・ロマンスというロマンス小説の中でも特殊なジャンル物で、かなりの長編シリーズ。しかし残念ながら日本では5巻までの発行でその後の刊行予定は未定。

このシリーズは人間の女性が主人公。ヴァンパイアや狼男との微妙な恋愛模様を繰り広げつつ、アクション満載で読み応えのある小説です。時代背景は現代なのがまた面白いところ。ロマンスと言いつつエッチシーンはほとんどなく、アクション要素が強いためか青年マンガ的な雰囲気なので男性でも抵抗なく読めると思います。

で、このどこにゾンビが関わるんだっていうと、主人公アニタの職業がゾンビをつくる「アニメーター(死者復活者)」というもののなのです。ゾンビを作る職業があるんですよ! 羨ましい! わたしもなりたいたい!! ゾンビを作るにはニワトリやヤギなどの生質が必要らしいのですが、ちゃん

と生き返るし、動くししゃべるんです。しかしアニメーターには厳しいルールがありまして、生き返るのは短時間のみで、本人しか知らない情報を聞き出すために生き返され、用が済んだらまた土の中に戻ってもらわなくてはなりません。雰囲気的には降霊術に近い感じですね。

もちろんヴァンパイアやウェアウルフの設定もかなり濃いので、ゾンビだけでなく、パラノーマルの世界を満喫できるシリーズです。パラノーマル・ロマンス小説の入門編としてもいいのかも。

次はマンガの紹介です。

集英社「Cocohana」で連載していた「もしも神様(著:ひうらさとる)」という作品。

これはある日突然旦那がゾンビになってしまった夫婦の物語。幽霊とかそういうニュアンスで肉体が動いていないがそこに存在しているという雰囲気なので、ゾンビと言ってもとてもきれいな身体をしています。少女マンガなのでシチュエーションよりも気持ち重視です。死というものが二人にどう影響を与え、どのように関係が変化していくのかという少し考えさせるテーマ。

この作品に登場するゾンビはゾンビと言えど生前と変わらぬ意思を持ち自ら行動することが出来るのが特徴。作中でオタク的なキャラクターがゾンビ旦那の肉体の耐久実験をしていたり、ゾンビに関してもちゃんと突っ込みが入るのが面白いところです。

冬水社「いち×ラク」にて連載していた長編マンガ「氷の魔物の物語(著:杉浦志保)」。

人間と魔物が旅するファンタジーマンガで、ややBL寄り(いや、主人公2人共男性でほぼ夫婦状態だからBLなんでしょか)。

この作中、中盤から後半に近づくくらいで、雑魚敵キャラ立ち位置に「死人返り」が登場します。ゾンビとは明言されないのですが、どう考えてもゾンビ! しかもノロノロ動くロメロ系ゾンビなものですから、紹介しなくてはならないという脅迫概念が……!!(笑) ちょっとしか登場しませんが、可愛いゾンビです。

この他にも実はこの作品にゾンビが! 的なものはまだまだたくさんあります。バーン! ドーン! とゾンビが登場して人を喰らう話も面白いですが、本筋の裏側にちらりと顔を見せるゾンビの姿を探すのも、また楽しいのではないのでしょうか。是非「こんなところにゾンビがいたよ!」という情報がございましたら、ゾンビカフェ委員会までお寄せください。

紹介した本



高慢と偏見とゾンビ
著作:ジェイン・オースティン
セス・グレーム＝スミス
出版:二見文庫



アニタ・ブレイク・シリーズ
著作:ローレル・K・ハミルトン
出版:ワレリジブックス
※国内では5巻まで刊行済み



もしも神様
著作:ひうらさとる
出版:集英社
マーガレットコミックス



氷の魔物の物語
著作:杉浦志保
出版:冬水社
※文庫版14巻で完結済み

SFゾンビ大戦争・序章

南瓜金助



20xx年：
上空に現れた
UFOから放た
れるイナズマが
人類の4割の脳天
に突き刺さる



イナズマによって脳を操られ
た人々は次々と人間を喰い
殺していった…



だが人類はこの攻撃
を想定し全人類に予防
接種と称し死体を兵士化
できるナノマシンを
注入していた

死体は歯と怪力を
武器にイナズマ達を
噛み砕き引き裂き
始める…



血湧き肉踊る
ゾンビ大戦争の
幕開けだった

完

ゾンビ科学。

Zombie Science

國重直也



「ゾンビ」とは、いったいなんなのか？

動く死体、蘇った屍、彷徨う死者……生きている我々人間とは別の存在である。しかし、ヤツラは我々を、新鮮な肉を求め、襲い、喰らうために近づいてくる。意識など持たず、その動物的本能のみに突き動かされているのかとく、ただただ彷徨い、近づき襲ってくる。

実際の話、ゾンビとはなんなのか？何故に死んだ肉体が、活動し始め、意識もいままに行動するのか？

映画の中では、色々な要因でのゾンビ化が見られる。ウイルスであったり、惑星の放射線、未知の病原菌、はたまた呪術や恨みなどの怨憎、悪魔的なものによる現象……その誕生方法は、千差万別である。

では、実際の世界……現実においてのゾンビはどのように誕生するのか？ 生きる屍であるゾンビの発祥は、ハイチであることは定説の一つとして有名である。ブドゥー教の司祭「ボコ」が蘇らせる。「ゾンビ」の起源は、「コンゴ」等で信仰されている神「ンザンビ」からきてるとされている。アフリカ等では、靈魂の存在が信じられており、「見えない霊的なモノ」の指す言葉であったものが、「コンゴ」から来た奴隷たちにより「ゾンビ」という名として広まった説がある。

「ゾンビ」を誕生させるのに使われるのが、「ンビパウダー」である。

その「ゾンビ」を生み出すための「ゾンビパウダー」は「人骨（粉末）」「アマカエル」「ヒキカエル」「コカイ」「フグ」の5種類から精製される。中でも、重要な役割であるものがフグに含まれる神経毒「テロトキシシン」になる。呼吸不全と死に結びつくような猛毒であるが、致死量未満であった場合、人間を仮死状態にする。呼吸も弱まり、心拍数もほぼなくなる。ロミオとジュリエットのラストに登場する毒物のようなものである。このような仮死状態になった人間が、死亡とみなされ埋葬、その後、蘇生されゾンビとなって復活させられる。

生きている人間にこのゾンビパウダーを塗り付け、肌から入った毒素が仮死状態にする。埋葬された後、蘇りを祈り起し解毒剤により覚醒させる。仮死状態になっていたその人は、前頭葉等に障害が起き、自発的意見を持たない人間となり、また、ダチュラという幻覚剤に似た薬剤を呪術者により与えられ脱け、意識が混濁したまま奴隷として扱われる……これが、一般的に現実の「ゾンビ」と言われるものだ。実際、ハイチにはゾンビ儀式を禁止する法令も存在する。

1980年にハイチで発見されたクレルウィル、ナルシスなる人物が「ゾンビ」として有名である。彼は、1996年に医師二人（アメリカ人含む）に、死亡したと診断され埋葬もされた。その後、墓を掘り起こされ奴隷として扱われていたというものである。

つまり、現実における「ゾンビ」とは、人間を襲い喰らうような存在ではなく、人間に利用される自我をなくした精神障害を負ってしまった人間ということになる。

では、映画などに登場する人を襲う屍である「ゾンビ」が現実で登場する可能性はあるのだろうか？ 上記の方法では、人を襲うことはない。そもそも死者ではない。また、ゾンビパウダー自体が、フグではなくハリセンボンを使用しており、仮死状態にするできないともされる説すらもある。

映画に登場するウイルスや呪いは除外して、可能性を考えてみた。私（重直）が代表を務める劇団（名前：JOHNNY TIME）の芝居におけるゾンビは（作品の中では「ヤツラ」という呼称、3年近くこの題材作品を上演）、神様の力により発症している。（とある事情で、神が死者を蘇らせた結果）詳しく書くとは長くなるので省略するが、呪い等に近しいものである。詳しくは、公演を見に来ていただけるとわかるかと。（2014年7月25日～8月6日上演）これは現実には置き換えると、やや可能性が低い、というが、証明できない。

そこで、まず死者を動かすという部分から考察し

てみた。死んだ人間は動かさない。それは、脳からの神経細胞の電気信号がなくなり、運動機能を失うからだ。逆に、神経信号の代わりを果たすものが存在すれば、死んだに肉体が動くとも考えられる。そこで考えてみたのが、寄生菌・寄生虫である。

まず、寄生菌類であるが、菌類が人に感染することとはすでにわかっている。また、世界中の森林で菌類はその独自のネットワークでその他の植物と共生関係を築き、養分を交換しあって相互に利益を得ている。このネットワークは、菌類だけではなく別の植物へ化学信号を伝達している可能性もある。つまり、この菌類のネットワークがファイラメントとなり、神経信号の代わりとして働くとは考えられないだろうか？

何かしらで胞子が人間の体内に入る。傷口等からの侵入だと、血流で全身に胞子が回るかもしれない。フィラリアのような寄生虫も同様。宿主が死ぬことで、菌類の活動が活性化（自己防御？）し成長。脳内にもそのネットワークは拡がり、この脳からの信号が電気信号の代わりとなり、全身に広がった寄生菌のネットワークにより肉体が動き出す可能性がある。また脳からの信号によって、人間らしい動きになるとも考えられるも、素早い動きは伝達速度が遅いためにも不可能と考えられる。生きてる間は、人間本来の神経信号があるために、このネットワークは働かないと考える。

そして、寄生虫。寄生虫の中には、寄生した宿主を換えるものが多い。エメラルドゴキブリパチはその神経毒でゴキブリの逃避反射を制御し、ゴキブリはエメラルドゴキブリパチの誘導によって巣に連れて行かれる。自らの行動で、巣で卵を注入されたゴキブリは、孵化した幼虫が生きたままゴキブリの内臓を食べて成長しサナギになり、やがてゴキブリの体内から出て羽化するまでそこに留まる。他にも、「ブドゥー・ワスプ」や「ロイココロリディウム」も宿主を操る。

この宿主を操り、自らの種を残そうとする行動原理により、寄生された人間は、死後動きだし、栄養を求める。その栄養とは、肉であり、人間である。人間を喰らうことで、栄養を摂取し、さらなる寄生先を増やしていく。種を増やすために。

突飛な話ではあるが、寄生生物については、まだまだ未知な部分が多い。人間にしか寄生しない菌や昆虫がいても不思議ではない。そのようなものが登場したら恐ろしいが、少しワクワクもしてしまう自分もいる。

化学的に「ゾンビ」が存在する生まれる証明ができないのと同様に、存在しない生まれぬ証明もまだできないのである。

國重直也

渋谷区在住。ゾンビ作品をこよなく愛する演劇人。2010年から自ら代表を務める団体「JOHNNY TIME」を旗揚げ。脚本・演出・役者を兼任。ホラーファンタジーをテーマに、笑えてゾクとする作品を作る。「ゾンビ」系の作品「とーく・おぶ・ざ・でっど」シリーズを3年に渡り続けている。作品の中では「ヤツラ」という呼称。2014年7月26日～8月6日までエビス駅前バーにて、「とーく・おぶ・ざ・でっど ∞」を上演予定。



JOHNNY TIME #05
「とーく・おぶ・ざ・でっど ∞～廻～」
2014年7月25日～8月6日
@エビス駅前バー

「ヤツラ」と呼ばれるゾンビのようなモノの誕生から、それから逃げる人々、そして、世界の終わりへと……小さなバーで繰り広げられる壮大な物語。

JOHNNY TIMEのファンタジーホラー作品の集大成がここに！ WEBにおいて、公演詳細や過去の子音編等を公開中！

<http://www.johnnytime2010.com/>



大マジメに、 備えあれば 憂いなし(たぶん)

谷口カー

2014年5月、CNNはアメリカ国防総省が対ゾンビ戦のプランを策定していたことを示す極秘文書を発見したと報道した。このプランはPDF版で31頁にわたる「CONPLAN8888」(2011年4月30日付)という文書に記されており、冒頭「このプランはジョークとして作成されたものではない」という一文から始まる。

詳細な内容は、わたし自身、信頼を寄せるゾンビライター、tk_zombie氏によるエキサイトレビュー内の力作記事「アメリカ軍が8種類のゾンビに本気で対策「CONOP 8888」を読んでみた」に委細を尽くした説明があるので、是非そちらを参照されたいか(このタイトルをGoogle検索すれば、すぐに見つかる)。その中では現実の軍事的戦略・戦術に基づいた詳細なプランが提示されている。このプランの目的は、「チョニジアやナイジェリアなど具体的な国名を挙げて、作戦プランが現実のものであると誤解されるのを避けるため、絶対にあり得ないシナリオを用いて訓練を行うためのもの」だったとのことである。

実際、アメリカでは上記に限らず、ゾンビは大マジメであるはずの公的機関にも密かな人気を博しており、2011年5月には「ゾンビ襲来への心構え入門 (Preparedness 101: Zombie Apocalypse)」というタイトルの文書がアメリカ疾病管理予防センター (CDC) の公式サイトにアップされたりもしている(ドラマ「ウォーキング・デッド」の中で自爆させられるアレである)。

このようなアメリカ人の大マジメなゾンビ好きの一つの極致にあるのが、タフツ大学のダニエル・ドレスナー教授によって著された「ゾンビ襲来——国際政治理論で、その日に備える」(拙訳、白水社刊)である。



「ゾンビ襲来」

著作：ダニエル・ドレスナー
翻訳：谷口カー、山田 高敏
価格：2,160円
出版：白水社

ドレスナーは、アメリカの国際政治・国際関係論の学界でもエース級の学者であり、時の政府に対して一定の影響力を行使しうるほどなのであるが、そのような人物が、大マジメに国際政治理論の観点からゾンビを論じているのである。

本書は、リアリズム・リベラリズム・ネオコンなどの様々な国際政治の理論パラダイムが、ゾンビ出現時、どのような対応を取るのかを抱腹絶倒の域に達する筆致で検討するものであり、上記のようなアメリカ人の「大マジメに備えあれば、憂いなし」の一極点を指し示していると言えるだろう。

ゾンビミアの紳士淑女のみならず、大学で国際政治・国際関係論を学ぶ学生諸君にも是非ともお薦めしたい一冊であり、訳者としては、本書が日本でも未永く読み継がれることを願ってやまない。

なお、本訳書はゾンビ映画の古典「ゾンビ (Dawn of the Dead)」の日本公開時のポスター題字を彷彿とさせる装丁と共に、白水社の担当編集者、竹園さんへの託いで、裏表紙にある白水社の社章である三ツドリ(鳥)までカソニビ化しており、隅々まで気合の入ったものとなっている。大マジメに備えあれば、憂いなし。ぜひ手に取って頂ければ、幸いです。



谷口カー

所属：首都大学東京・法学系・准教授 専攻：法哲学
著作：『ショッピングモールの法哲学』
『RATIO』06号、講談社、2009年

ゾンビ の世界であなたと 一緒に

nanako

nanako

待ちました！ Cafe of the dead 最新号！ 今年もたくさんのゾンビ映画が映画館で見られますように！

「科学」「ゾンビ」というと「死霊のえじき」の博士とバブが浮かびますが、今回は真逆のような、でも実は似ているのでは？ と思えるような映画について書きます。

昨年ゾンビオリンピックでイギリス代表として公開された『ビフォア・ドーン (BEFORE DAWN)』です。2012年の作品で、『ヨリシ Love of the dead』のマーク・ブライスが製作総指揮を務めています。監督はドミニク・ブランド。彼は監督だけでなく主役のアレックスを演じています。

アレックスとメグの夫婦が、子供たちをメグの母に預け田舎の別荘へ行きます。そこでメグがゾンビに噛まれるのですが、オープニングからゾンビに噛まれるまでに30分くらい時間がかかります(作品は82分なので……けっこう割いてます)。

ではこの30分が描かれるのかということ……アレックスとメグの夫婦仲！メグは仕事を自立して夫アレックスに対してもう愛はないようです。でも夫、愛した人なので邪魔に接するわけではないのですが、妙に一線を引いたような態度をとります。

一方、夫のアレックス、無職でメグの母にも嫌われている。三人の子供たちには、まあ好かれているようです。アレックスはまだメグが好きで、この別荘での休暇で仲を修復したいと奮闘します。

この夫婦の会話やふれあいの居心地の悪さ！『ブルー・バレンタイン』を見ているかのよう！

脚本にはメグ役のジョアンナ・ミッチェルも名前を連ねております。だからかな？ ころ……アレックスが悪い人ではないんだけど「おしい」感じが良くてです。(夫婦にとって)良かれと思ってしたことごとんとん裏目になる感じが。

この夫婦のやりとり、やり直したい夫と別れたい妻の微妙な空気。30分たっぷり時間を使って見せられ、ゾンビ映画であることを忘れるほどです。そして！ととて『ブルー・バレンタイン』にゾンビが投入されます。ジョギング中のメグがいきなり追いかけてきたゾンビに噛まれるのです。ゾンビは走るタイプで素早いです！「ゾンビ描写・メイクも素晴らしい！噛まれたメグ。そしてアレックスはどんな行動をとるのか……、続きはぜひ、ご覧ください。

『ビフォア・ドーン』の好きなところは、このゾンビが発生し世界が終わってゆくことを限られた場所、少ない人数で描くところです。……予算の関係もあるのでしょうが、

自然に画まれた別荘で、ゾンビは全部で5人くらいしか出てきません。しかもほぼ家の中です。

でも色々な方法で、画面から世界(ゆなくともロンドン)が終わることは分かるし、その予兆は別荘に替くまでもも表れています。

夫婦の関係という小さな世界の終わり、ロンドン、世界の終わり。ただ、ゾンビは一度死んだ人間が生き返る。だから、一度壊れた夫婦仲も……？

邦学でもSFからは強い作品がもたれません。ゾンビの原因を探れるわけでもなく、ただただ事態に振り回され、思た。でもそれこそが、この作品の魅力なのです。





ゾンビカフェ委員会とは……

ゾンビ好きによる、ゾンビジャンルの布教活動をしている有志団体です。様々な方にゾンビの良さを知っていただき、ゾンビ仲間を増やしていくというのが「ゾンビカフェ委員会」の目的です。なお、ゾンビになったりゾンビを作ろうとしているわけではありませぬ。その名のとおりにゾンビによるゾンビのための「ゾンビカフェ」の開催を目標としています。そのために、それ以外にもゾンビを広く布教し続けるため、いろいろな活動を行っています。

- ★記事ライター募集!
このフリーペーパーに記事を書きませんか?ゾンビに対する熱い想いを語って下さい!
- ★ゾンビ絵師募集!
表紙絵を飾るゾンビ絵を書いて頂ける方はご連絡を!
- ★取材・掲載希望お気軽にご相談下さい。

急募



HAL-CON

はるこん 2015

海外GoH ゲスト・オブ・オナー

ハンヌ・ライアニエミ



SF小説『量子怪盗』、『複雑系王子』、『The Causal Angel』ほか、いくつかの短編小説を発表している作家。
エジンバラ大学にて弦理論の博士号を取得、英国国防省や欧州宇宙機関などを顧客に持つ数学専門会社を共同起業した。
現在は作家業の傍ら、生命工学の新興企業、Helix Nanotechnologies社の共同創設者としても働いている。



主催 はるこん実行委員会
公式サイト <http://www.hal-con.net/>
お問い合わせ contact-hal@hal-con.net

川崎市国際交流センター

4月11日(土)、12日(日)

なつこんディーラース、はるこんブースにて参加登録受付!

国内GoH ゲスト・オブ・オナー

永野のりこ

東京都出身。1985年に『Sci-Fiもーしょん』(『月刊少年キャプテン』徳間書店)でデビュー。1992~1998年『GOD SAVE THE すげこまくん!』連載(『週刊ヤングマガジン』講談社)他、青年誌、新聞、女性誌等に漫画を執筆。1997年 SFラブコメディ『あすて・ないでデイズ』がテレビアニメ化された。その他代表作『電波オデッセイ』『ちいさなのんちゃん』『GIVE ME たまちゃん!』『オタクの御主人』等。怪獣やロボットやマッドサイエンティストや未来都市や宇宙船やさまざまなSFないろいろで育てられた子供時代を経てそのまんまな憧れとともに今に至る。



後援 川崎市 川崎市民ミュージアム